



株式会社 創翔の里 × Ryan インタビュー

子どもたちのために成長を続ける福祉施設『放課後等デイサービス かぼすの丘』を紹介します。



新入社員 原口先生



新入社員 猪ノ口先生



左から岡内会長、佐伯常務、塩月施設長、若狭社長

Q 放課後等デイサービス「かぼすの丘」とは？

（佐伯常務）

「かぼすの丘」は、個別の支援方法で成長をサポートする放課後等デイサービスです。小学1年生から高校3年生の発達障がいのある子どもたちを対象としています。学校終わりから家に帰るまでの間子どもたちを預かり、様々な支援を行う福祉施設です。子どもたちの好きなこと、得意なことを早期に見つけ、一人ひとりの特性や可能性、潜在的な能力を引き出すプログラムを提供しています。

Q この会社を選んだ理由は？

（原口先生）

私は専門学校の時から障がいのある子どもたちのサポートをしたいと考えていました。就職活動中に「かぼすの丘」を知り、見学をさせて頂いた時「子どもたちを褒めて伸ばしている」と感じ心に残りました。自分の考えと同じだったので入社を希望しました。今は働き始めたばかりなので、日々勉強しています。

Q 石垣店で始める新しい事業とは？

（佐伯常務）

以前から家族等の要望があった「児童発達支援サービス」を7月からスタート致します。児童発達支援サービスとは、小学校に上がる前の未就学児を対象としたサービスで、就学・就園に向けた学習とソーシャルスキル等の習得、コミュニケーション・社会的

Q 今後どんな施設にしたいですか？

（若狭社長）

開所してから約4年が経ちましたが、今では50名を超えるスタッフに支えられています。我々は社会的責任があると考え「子どもたちのため」「親御さんのため」社員一人ひとりが常に考えながら働ける組織づくりをしています。今では職員同士の考えが共有でき、ただ働くだけではなく子ども

くりを徹底しています。施設を巣立った学生さんが、遠くからでも相談しにくることもあるので、信頼されている証だなと感じています。

新入社員のお二人にお聞きします。

障がいのある子どもたちとふれあいたいと思って見学を希望しました。リクルートスーツで見学に来た私に子どもたちは「こんな格好の人初めて」と言いながら一緒に遊ぶくれました。とても元気に遊ぶ子どもたちが印象に残っています。仕事になるとマニュアル的になるのかと思いましたが、自分らしく子どもたちとふれあえているので今が楽しいです。

を培う療育などを行います。小学校に入る準備段階から学習の基礎づくりや様々なスキルの習得をサポート致します。新しい事業なので、自分たちもスキルの幅を広げ、深く追及しながら前に進みたいと思います。未就学児から大人になるまでのサポートを目指した取り組みにチャレンジして行きます。

もたちの将来を見据えた療育を積極的に取り入れています。未就学児から大人になるまでのプロセスを寄り添いながら指導できる喜びを感じ、将来的には就労の支援までできる施設を目指して行きます。

（岡内会長）

手さぐり状態で始めた事業ですが、優秀な人材に恵まれ会社として実力がついてきたことを感じています。社会に貢献できる会社のあり方を考えてきた結果、少しずつ実現できていると思います。今後も今までの形にこだわらず、新しいことにチャレンジして行きたいと考えています。春からは事業本部を立ち上げ、社員から出る様々なアイデアを迅速に形にできる環境も整えて行きます。

放課後等デイサービス かぼすの丘 各店舗

- 【荘園店】別府市荘園9組1 ルーデンス荘園1F
- 【秋葉通り店】別府市楠町7-29 協栄コート1F
- 【山の手店】別府市山の手町15-38 ペレオ山の手1F
- 【武蔵店】国東市武蔵町内田67-2アリュールプログレ1F
- 【亀川店】別府市亀川浜田町7-6
- 【石垣店】別府市石垣東7-4-3

児童発達支援サービス

- 【石垣店】別府市石垣東7-4-3 2F 7月OPEN予定